

都内介護人材の状況調査(介護職員等向け調査)

本アンケート調査の回答は令和元年10月1日現在の状況を基準にご回答ください。

ここからは、あなたの基本情報についてお伺いします。

Q1

あなたの現在の年齢についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 20代以下
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代
- ☐ 70代以上

Q2

あなたの性別についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ 回答しない

Q3

あなたの現在の勤務形態についてご回答ください。

なお、正規／非正規、常勤／非常勤の定義は以下のとおりです。(1つ選択)

- 正規 : 期間を定めない雇用契約を締結している職員
- 非正規 : 期限を定めた雇用契約を締結している職員
- 常勤 : 1週間当たりの労働時間が40時間以上
- 非常勤 : 1週間あたりの労働時間が40時間未満

- ☐ 正規職員・常勤
- ☐ 正規職員・非常勤
- ☐ 非正規職員・常勤

- ☐ 非正規職員・非常勤
- ☐ 介護職派遣

Q4

あなたの最終学歴についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 高等学校(介護福祉関係の学科)
- ☐ 高等学校(上記以外)
- ☐ 高専、短大(介護福祉関係の学科)
- ☐ 高専、短大(上記以外)
- ☐ 大学・大学院(介護福祉関係の学科)
- ☐ 大学・大学院(上記以外)
- ☐ 小・中学校
- ☐ その他(具体的に)

Q5

あなたの現在の居住地についてご回答ください。(選択)

▼お選びください ▼

▼お選びください ▼

Q6

あなたの配偶関係についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 既婚
- ☐ 未婚
- ☐ 離死別

Q7

あなたの子どもの有無についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 子どもがいる
- ☐ 子どもはいない

Q8

あなたの子どもの年齢としてあてはまるものをすべてお選びください。

- ☐ 未就学児
- ☐ 小学生
- ☐ 中学生以上

Q9

あなたの介護の仕事の経験年数と現在の法人での勤続年数についてご回答ください。

介護の仕事の経験年数(累計) 約 年 ヶ月

現在の法人での勤続年数 約 年 ヶ月

Q10

現在の法人で継続的に勤務できている理由についてご記入ください。

Q11

あなたの保有資格についてご回答ください。(複数選択可)

- ☐ 介護福祉士
- ☐ 社会福祉士
- ☐ 介護職員実務者研修修了者(訪問介護員養成施設研修1級・基礎研修修了者を含む)
- ☐ 介護職員初任者研修修了者(訪問介護員養成施設研修2級修了者を含む)
- ☐ 医療的ケア(喀痰吸引等)研修修了者
- ☐ 保健師
- ☐ 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- ☐ 管理栄養士・栄養士
- ☐ 精神保健福祉士
- ☐ 機能訓練指導員(PT・OT・ST)

- ☐ 認知症介護実践研修修了者
- ☐ 臨床心理士
- ☐ 看護師・准看護師
- ☐ 該当する資格はもっていない

ここからは、あなたご自身の働き方の状況についてお伺いします。

Q12

現在、あなたが主として従事しているサービス種別についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 通所介護
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護療養型医療施設
- ☐ 介護医療院
- ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 夜間対応型訪問介護
- ☐ 地域密着型通所介護
- ☐ 認知症対応型通所介護
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 認知症対応型共同生活介護
- ☐ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 複合型(看護小規模多機能型居宅介護)
- ☐ 居宅介護支援
- ☐ その他(具体的に)

Q13

現在、あなたが主として従事しているサービス種別での役職・役割として最もあてはまるものを1つご回答ください。
なお、訪問介護員、介護職員の定義は以下のとおりです。(1つ選択)

訪問介護員 : 介護保険法の指定を受けた訪問介護又は夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所で働き、高齢者等の家庭を訪問して家事などの生活援助、入浴などの身体介護を行う者。

介護職員 : 訪問介護以外の介護保険の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

- ☐ 訪問介護員(一般職)
- ☐ 訪問介護員以外の介護職員(一般職)
- ☐ ユニットやフロア等のチームリーダー
- ☐ 介護の現場スタッフの教育担当、スーパーバイザー(専任)
- ☐ サービス提供責任者(管理職、経営職以外)
- ☐ 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- ☐ 管理職・経営者
- ☐ その他(具体的に)

Q14

あなたの現在働いている事業所・施設での通常月の税込月収をご回答ください。

なお、税込月収は賞与、残業代、休日出勤手当を除き、通勤費等毎月決まって支給される各種手当を含む賃金額(税込)とします。

税込で 平均 約 万円／月

☐ 答えたくない

Q15

あなたは本調査への協力を依頼された職場以外で、収入を伴う仕事(兼業)をしていますか。

あてはまるものを1つご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 兼業はしていない
- ☐ 複数の介護事業所・施設で働いている(事業所・施設をまたいで、介護サービスの兼業をしている)
- ☐ 介護以外の仕事もしている(介護サービス以外の兼業をしている)

Q16

あなたの現在働いている事業所・施設での通常の1週間(月曜日～日曜日)で働く日数、時間数、残業時間数及び通常の1ヶ月における深夜勤務(夜10時～朝5時)の実施回数をそれぞれご回答ください。

1週間に働いた日数	0	日
1週間に働いた時間数	0	時間(残業時間を含めた1週間の労働時間)
1週間の残業時間	0	時間(残業がない場合は『0』をご記入ください。)
1ヶ月の深夜勤務(夜勤)の回数	0	回(深夜勤務がない場合は『0』をご記入ください。)

Q17

あなたの現在の主な通勤手段(最も所要時間が長いもの)および通勤時間について、あてはまるものをそれぞれ1つご回答ください。

なお、訪問先に直行されている訪問介護員等の方は訪問先までの所要時間ではなく、事業所・施設までの所要時間をご回答ください。(それぞれ1つ選択)

	徒歩	自転車	電車・バス	自動二輪車	自家用車	その他
通勤手段	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	5分未満	5分以上20分	20分以上40分	40分以上60分	60分以上80分	80分以上



Q19

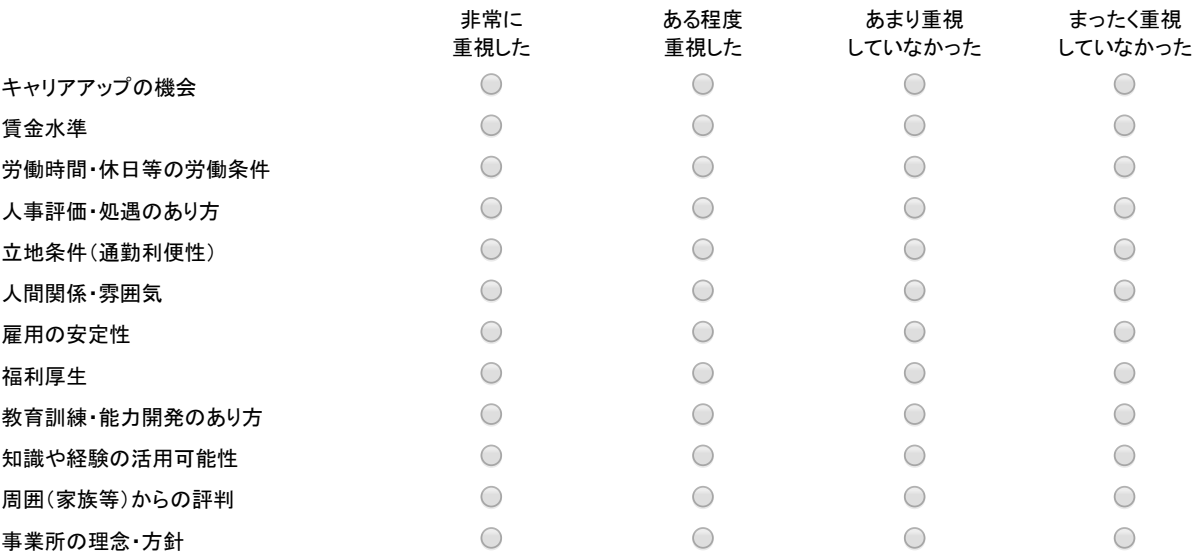
あなたの現在の仕事、職場の人事評価制度、人間関係・雰囲気に対する満足度として最もあてはまるものをそれぞれ1つご回答ください。（それぞれ1つ選択）



ここからは、あなたの就業継続意向についてお伺いします。

Q20

現在の事業所・施設への就業を決める際に、重視した要素についてご回答ください。（それぞれ1つ選択）



Q21

現在、勤めている事業所・施設や介護業界での就業継続意向についてご回答ください。（1つ選択）

- 現在の事業所・施設で、今後もできるだけ長く働き続ける予定
- 現在の事業所・施設で、当面2、3年程度は働き続ける予定

- ☐
- ☐ 条件等がある事業所・施設があれば転職する
- ☐ できるだけ早く違う事業所・施設に転職したい
- ☐ 条件等がある介護業界以外での仕事があれば転職する
- ☐ できるだけ早く違う業界に転職したい
- ☐ 分からない・未定
- ☐ その他(具体的に)

Q22

現在の職場で、介護の仕事を継続していきたいと思う理由として、該当するものをすべて選択してください。(複数選択可)

- ☐ 職員や同僚との人間関係・雰囲気に満足しているから
- ☐ 利用者やその家族とのコミュニケーションが良好で満足しているから
- ☐ 仕事にやりがいを感じているから
- ☐ 相場や業務負荷からみて賃金水準に納得感があるから
- ☐ 勤務時間帯や部署異動などの希望に柔軟に対応してくれるから
- ☐ 人事評価の基準・内容に対して納得感があるから
- ☐ キャリアアップの機会が豊富にあるから
- ☐ 管理者やリーダーが適切なマネジメントを行っているから
- ☐ 法人や事業所・施設の理念や方針に共感できるから
- ☐ 職場の立地(通勤利便性)に満足しているから
- ☐ その他(具体的に)

Q23

現在の職場で、介護の仕事を継続していきたくないと思う理由として、該当するものをすべて選択してください。(複数選択可)

- ☐ 職員や同僚との人間関係・雰囲気に不満があるから
- ☐ 利用者やその家族とのコミュニケーションに難しさを感じているから
- ☐ 仕事にやりがいを感じられないから
- ☐ 相場や業務負荷からみて賃金水準に納得感がないから
- ☐ 勤務時間帯や部署異動などに希望が反映されにくいから
- ☐ 人事評価の基準・内容に対して納得感がないから
- ☐ キャリアアップの機会が乏しいから
- ☐ 管理者やリーダーのマネジメント方法に不満があるから
- ☐ 法人や事業所・施設の理念や方針に共感できないから
- ☐ ライフイベント(結婚・出産・育児・転居など)や体調不良等の個人的な事情により就業継続が困難だから
- ☐ 職場の立地(通勤利便性)に不満があるから
- ☐ 体力面での負担が大きすぎるから
- ☐ その他(具体的に)

Q24

介護業界での就業を決めた動機・きっかけに関して、下記項目の影響についてご回答ください。（それぞれ1つ選択）

	非常に 影響した	ある程度 影響した	あまり影響 していなかった	まったく影響 していなかった
介護の仕事の社会的意義	☐	☐	☐	☐
介護の仕事のやりがい	☐	☐	☐	☐
資格や技能を活用できること	☐	☐	☐	☐
人に感謝されることが仕事であること	☐	☐	☐	☐
就業前の介護経験(家族介護・インターン等)	☐	☐	☐	☐
高齢者とふれあうことができること	☐	☐	☐	☐
介護業界の将来性	☐	☐	☐	☐
介護業界の処遇の良さ	☐	☐	☐	☐
家族・知人・親戚の勧め	☐	☐	☐	☐
ハローワーク・人材センターの勧め	☐	☐	☐	☐
他に適切な職がないこと	☐	☐	☐	☐
正規雇用の仕事に就けること	☐	☐	☐	☐

Q25

上記の選択肢以外に、介護業界での就業を決めた動機・きっかけがあれば、具体的な内容をご記入ください。

Q26

介護事業所・施設に入る際に利用したことがある情報入手・応募ルートに関して、各情報入手・応募ルートの満足度について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。
ご利用した経験がないものについては『利用した経験がない』を選択してください。（それぞれ1つ選択）

	情報入手・応募ルートとして				利用した経験 がない
	非常に満足	やや満足	どちらともい えない	やや不満	非常に不満
ハローワーク	☐	☐	☐	☐	☐
福祉人材センター	☐	☐	☐	☐	☐
自治体等が主催する合同説明会	☐	☐	☐	☐	☐
人材紹介会社の紹介	☐	☐	☐	☐	☐

Q27

介護事業所・施設に入る際に利用したことがある情報入手・応募ルートに関して、各情報入手・応募ルートを利用した理由について、以下の枠組みに沿ってご回答ください。(それぞれ1つ選択)

	情報入手・応募ルートとして利用した理由					
	就職の相談にのってもらえるから	職業訓練や能力開発に関する相談ができるから	就職の成功率が高いから	求人内容が信用できると思うから	多くの求人が見られるから	他のルートを知らなかったから
ハローワーク	☐	☐	☐	☐	☐	☐
福祉人材センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自治体等が主催する合同説明会	☐	☐	☐	☐	☐	☐
人材紹介会社の紹介	☐	☐	☐	☐	☐	☐

ここからは、あなたのキャリアパスについてお伺いします。

Q28

介護業界に入る以前の職業等についてご回答ください。
あてはまるものが複数ある場合には、介護業界に入る以前の直近の職歴についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 学生(福祉系の学校)
- ☐ 学生(福祉系以外の学校)
- ☐ 他の業界で正社員
- ☐ 他の業界でパート・アルバイト
- ☐ 他の業界で派遣社員
- ☐ 育児・子育てで休職していた
- ☐ 家族の介護・看病のために休職していた
- ☐ 主婦(主夫)
- ☐ 自営業
- ☐ 職についていなかった
- ☐ その他(具体的に)

Q29

介護業界内での転職経験、経験がある場合は転職回数についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 介護業界内での転職経験あり ⇒ 転職回数 回
- ☐ 介護業界内での転職経験なし

Q30

あなたが従事した経験があるサービス種別についてご回答ください。(複数選択可)

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 通所介護
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護療養型医療施設
- ☐ 介護医療院
- ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 夜間対応型訪問介護
- ☐ 地域密着型通所介護
- ☐ 認知症対応型通所介護
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 認知症対応型共同生活介護
- ☐ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 複合型(看護小規模多機能型居宅介護)
- ☐ 居宅介護支援
- ☐ その他(具体的に)

Q31

今後、将来に向けて実現したい「介護の仕事」のキャリア目標の方向性についてご回答ください。(複数選択可)

- ☐ 現状維持
- ☐ 介護の特定分野に関する専門性を深めていきたい(認知症ケア等)
- ☐ 管理職・経営者を目指していきたい
- ☐ 介護の専門性の幅を広げていきたい
- ☐ その他(具体的に)
- ☐ 特に考えていない

Q32

今後、将来に向けて実現したい「介護の仕事」のキャリア目標の具体的な内容として、あてはまるものをすべて選択してください。

また、そのうちで最も実現したいキャリア目標を1つ選択してください。

実現したい目標
(あてはまるものすべて)

最も実現したい目標
(あてはまるもの1つ)

経営マネジメント担当	☐	☐
事業所・施設の管理責任者	☐	☐
サービス提供責任者	☐	☐
介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル (認知症ケア等)	☐	☐
介護の現場スタッフの教育リーダー、スーパーバイザー	☐	☐
介護の現場(ユニットケアやフロア等)のチームリーダー職	☐	☐
訪問介護員	☐	☐
訪問介護員以外の介護職員	☐	☐
独立開業	☐	☐
介護支援専門員(ケアマネジャー)	☐	☐
相談援助職(社会福祉士資格保有者等)	☐	☐
看護職	☐	☐
あてはまるものはない	☐	☐

Q33

上記の選択肢以外に、「介護の仕事」のキャリア目標があれば、その具体的な内容をご記入ください。

ここからは、あなたが勤務している「事業所の取り組みに関する認識」についてお伺いします。

Q34

現在、勤務している事業所・施設における、職員の確保・育成・離職防止に向けた取組や工夫の実施状況に対する認識についてご回答ください。(1つ選択)

- ☐ 事業所・施設は職員の確保・育成・離職防止に向けた取組・工夫を積極的に行っていると思う
- ☐ 事業所・施設は職員の確保・育成・離職防止に向けた取組・工夫をある程度は行っていると思う
- ☐ 事業所・施設は職員の確保・育成・離職防止に向けた取組・工夫を行っていないと思う

Q35

職員の確保に向けて、各事業所・施設が行っている独自の取り組みや工夫の効果に対するご認識についてご回答ください。(それぞれ1つ選択)
※現在、ご自身が勤務している事業所・施設での該当する取組や工夫の実施状況は問いません。

効果認識
非 効 あ 効

		常に効果があると思う	果があると思う	まり効果がないと思う	果がないと思う	
職員の確保	PR方法	事業所・施設HPやSNS(ブログ、フェイスブック等)で事業所・施設の個性をアピールする	☐	☐	☐	☐
	方法	事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成する	☐	☐	☐	☐
	求人条件	賃金体系の見直しを行う	☐	☐	☐	☐
		時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する	☐	☐	☐	☐
		賃金、労働時間などの求人条件を明確にする	☐	☐	☐	☐
	学校・地域交流	地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行う	☐	☐	☐	☐
	その他	福祉系養成校の実習を積極的に受け入れる	☐	☐	☐	☐
		地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行う	☐	☐	☐	☐
		夜勤専従職員を採用する	☐	☐	☐	☐
		職場体験や見学を実施する	☐	☐	☐	☐
		職員向けの社宅制度を導入している(社員寮や家賃補助を含む)	☐	☐	☐	☐

Q36

上記の選択肢以外に、職員の確保に有効と思う取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

Q37

職員の離職防止に向けて、各事業所・施設が行っている独自の取り組みや工夫の効果に対するご認識についてご回答ください。(それぞれ1つ選択)
※現在、ご自身が勤務している事業所・施設での該当する取組や工夫の実施状況は問いません。

効果認識			
非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う

職員の離職防止	配置・評価	離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行う	☐	☐	☐	☐
	人事評価	人事評価基準を明確化し、評価結果のフィードバックを行う	☐	☐	☐	☐
	昇進・昇格	昇進・昇格に必要な能力等を明確にする	☐	☐	☐	☐
	賃金水準	賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする	☐	☐	☐	☐
	労働条件	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入する	☐	☐	☐	☐
	ICTや介護ロボット	年次有給休暇取得を計画的・組織的に行う	☐	☐	☐	☐
	環境	ICTや介護ロボットを導入する	☐	☐	☐	☐
	子育て	子育てを行う場合でも安心して働ける環境を整備する(保育費の補助や事業所内保育所の設置等)	☐	☐	☐	☐
	利用者のハラスメント	利用者等からのハラスメントに対する体制を整備する(相談窓口の設置等)	☐	☐	☐	☐
	職場内のコミュニケーション	職場内のコミュニケーションを促進する機会を設ける(意見交換会、社内レクリエーション等)	☐	☐	☐	☐
人間関係	近隣の介護事業所・施設	近隣の介護事業所・施設の職員との交流や情報交換を行う機会を設ける	☐	☐	☐	☐
	利用者本位	利用者本位で目的指向の介護を事業所・施設全体で推進する	☐	☐	☐	☐
	利用者個々のケア	利用者個々のケア目標・介護計画等を共有する機会を設ける	☐	☐	☐	☐
	職員の意見やアイデア	職員の意見やアイデアを積極的に事業所・施設の運営や日常業務に取り入れる	☐	☐	☐	☐
	現場の管理者やリーダー	現場の管理者やリーダーのマネジメント力の育成・向上を組織的に行う	☐	☐	☐	☐
	現場の自主性	現場の自主性を推奨する制度や仕組みを導入する(現場への権限移譲を推進する)	☐	☐	☐	☐
	法人や事業所・施設	法人や事業所・施設の理念や方針について職員と共有する機会を設ける	☐	☐	☐	☐
働きがい						
組織や上位者のマネジメント						

効果認識

非常に効果があると思う

効果があると思う

あまり効果がないと思う

効果がないと思う

Q38

上記の選択肢以外に、職員の離職防止に有効と思う取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

Q39

職員の育成に向けて、各事業所・施設が行っている独自の取り組みや工夫の効果に対するご認識についてご回答ください。
(それぞれ1つ選択)
※現在、ご自身が勤務している事業所・施設での該当する取組や工夫の実施状況は問いません。

		効果認識			
		非常に効果があると思う	効果があると思う	あまり効果がないと思う	効果がないと思う
職員の育成	新人の育成計画・方針等を作成する	☐	☐	☐	☐
	新人の指導担当者やアドバイザーを置く	☐	☐	☐	☐
	指導担当者やアドバイザー向けの養成研修を実施する	☐	☐	☐	☐
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備する	☐	☐	☐	☐
	業務に関するマニュアルを整備する	☐	☐	☐	☐
	『介護キャリア段位制度』を活用し、職員の実践的なスキルの評価を行う	☐	☐	☐	☐
	外部研修、勉強会等への職員の参加を奨励する (研修参加費の助成、勤務調整など)	☐	☐	☐	☐

Q40

上記の選択肢以外に、職員の育成に有効と思う取組・工夫があれば、その具体的な内容をご記入ください。

ここからは、「東京都の取り組みに関する認識」についてお伺いします。

Q41

介護人材の確保・育成・離職防止に向けて、東京都が推進している事業や取り組みに対するご認識について、その内容を知っていますか。
また、このような事業や取り組みは効果があると思いますか。あてはまるものをそれぞれご回答ください。(それぞれ1つ選択)

回答は横方向にお答えください。



認知状況		効果認識			
知って	知ら	非常に効果がある	効果があまり	効果が	

	いる	ない	効果があると思う	あると思う	効果がないと思う	ないと思う
未経験者向けの介護の職場体験の実施	☐	☐	☐	☐	☐	☐
未経験者向けの介護に関する基本的な知識・技術を習得するための入門的研修の実施	☐	☐	☐	☐	☐	☐
職員 の 確 保	☐	☐	☐	☐	☐	☐
未経験者向けの初任者研修や実務者研修等に対する受講料等の補助						
新卒採用者の奨学金返済に対する補助						
職場環境の整備に積極的に取り組んでいる事業所情報の公表（事業所情報の見える化）						
福祉の魅力を発信するキャンペーンの展開（ハローキティTOKYO福祉のお仕事アンバサダー）						
職員募集や各種研修・イベント等の情報を発信するWebサイトの導入（ふくむすび）						
職員 の 確 保 ・ 育 成 ・ 離 職 防 止	☐	☐	☐	☐	☐	☐
キャリア段位制度のアセッサー講習への参加費用に対する補助						
キャリア段位制度の導入に向けた、人事制度改善のための集合研修・個別相談等の実施						
キャリアパスの導入事業者におけるレベル認定者への手当支給等に対する補助	☐	☐	☐	☐	☐	☐
職員 の 育 成	☐	☐	☐	☐	☐	☐
現任職員の介護福祉士資格取得にかかる費用に対する補助						
現任職員が各種研修に参加する場合に、代替職員を派遣						
医学的知識やたんの吸引等の医療的ケアに関する研修の実施	☐	☐	☐	☐	☐	☐
職員 の 離 職 防 止	☐	☐	☐	☐	☐	☐
職員宿舎を借り上げる際の経費の補助						
雇用管理改善の取組みを促進するための管理者向けの労働法規に関する説明会の実施						
ICT機器や介護ロボット等の導入や活用に対する経費の補助	☐	☐	☐	☐	☐	☐
外国人 人 材 の 受 入 れ 環 境 整 備	☐	☐	☐	☐	☐	☐
外国人介護従事者の受入れに必要な知識等の習得に向けたセミナー・相談会の開催						
外国人介護従事者の指導担当者に対する研修の実施						
施設等でアルバイトとして働く外国人留学生の奨学金返済に対する補助						
外国人介護福祉士候補者の介護福祉士国家資格取得に係る経費の補助	☐	☐	☐	☐	☐	☐
外国人技能実習制度に基づく外国人介護実習生の介護技能等の習得に対する経費を補助	☐	☐	☐	☐	☐	☐

回答は横方向にお答えください。



認知状況

効果認識

知っている

知らない

非常に効果があると思う

効果があると思う

あまり効果がないと思う

効果がないと思う

Q43

介護人材の確保・育成・離職防止等に関して、東京都に対する期待・要望等があればご記入ください。（自由記述）

Q44

最後に、どのようなことでも結構ですので、ご意見・ご提案があればご記入ください。（自由記述）

回答一覧画面を表示

回答もれがないか確認し、よろしければ「回答一覧画面へ」ボタンをクリックしてください。
これまでの回答内容を保存する場合は、「一時保存」ボタンをクリックしてください。

戻 る

回答一覧画面へ

一 時 保 存

都内介護人材の状況調査

回答が完了しました

問合せ窓口：マクロミルアンケート事務局
TEL 0120-958-403(土日祝日を除く月～金 10:00～18:00)